

令和2年4月8日

公益社団法人日本地すべり学会
関東支部関係者各位

公益社団法人日本地すべり学会
関東支部長 櫻井正明

公益社団法人日本地すべり学会関東支部
令和2年度支部総会の変更とシンポジウムの中止について（連絡）

日頃から、関東支部の活動にご支援をいただきありがとうございます。

関東支部では、令和2年5月8日に東京大学工学部（東京都）において、支部総会及びシンポジウムを開催する予定で準備を進めてきたところですが、しかし、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、4月7日から1か月間、東京都を含む7都府県を対象として緊急事態宣言が発令されたことから、誠に残念ですが、次のように対応します。皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。

また、今後、支部総会等の案内は、電子メールで行います。案内を差し上げるメールアドレスは、学会の会員情報に登録されたメールアドレスとします。メールアドレス等の会員情報は、学会ホームページから変更が可能ですので、電子メールの登録確認等をお願いします。

記

1. 総会（開催場所変更・規模縮小）

令和2年5月8日に東京大学工学部（東京都）にて開催予定でしたが、開催場所を変更し、規模を縮小して、総会を実施します。なお、感染リスクの高い方、出張等に制約のある方などに配慮して、書面による議決権の行使も可能とします。詳細は、別紙を参照してください。

2. シンポジウム（中止）

「令和元年台風19号による斜面災害」をテーマとして、令和2年5月8日に東京大学工学部（東京都）にて開催予定でしたが、当面のところ円滑な開催の目処が立たないことから、シンポジウムを中止します。

なお、情報提供のために、「概要集」は発行して支部ホームページに掲載します。

3. 意見交換会（中止）

令和2年3月末に中止を決定し連絡済みです。

〔参考〕メールアドレスの登録確認方法について

学会ホームページの「会員」―「会員情報の確認と変更」のページでメールアドレスの確認・変更が可能です。 <https://japan.landslide-soc.org/join/update.html>

以上

令和2年度支部総会の対応について

関東支部会員の皆様へ

令和2年4月16日

公益社団法人日本地すべり学会関東支部長

日頃から、関東支部の活動には、ご協力、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、関東支部では、令和2年度支部総会を、令和2年5月8日、東京大学（東京都）を会場として開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、規模縮小・開催場所の変更を行うとともに、委任状・決議書の提出をお願いしております。

関東支部会員の方は、支部総会への対応について、①～③のうちのいずれかの方法を選択して、対応いただけますようお願いいたします。なお、新型コロナウイルスの感染リスクを下げるために、特段のことがなければ、③又は②の方法をご検討いただければ幸いです。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、ご協力をお願いいたします。

記

1. 支部総会への対応方法

①総会出席（シンポジウム・意見交換会は中止：連絡済）

連絡票にて連絡の上、下記の総会に出席して下さい。なお、欠席される場合を考慮して、連絡票とともに委任状もご提出ください。

期日：令和2年5月8日（金） 14:00—15:00（受付開始 13:30）

場所：~~群馬県社会福祉総合センターB01会議室~~（場所を再度変更する場合は参加者にメールで連絡）

群馬会館第5会議室（群馬県前橋市）に変更 4月28日付

②議決権の委任（委任状提出）

「委任状」を提出してください。なお、すでに提出された委任状は有効ですので、あらためて提出する必要はありません。

③書面による議決権の行使（決議書提出）

各議案についての賛否を記載した「決議書」を提出してください。なお、議案は、支部ホームページ等に掲示します。

2. 連絡の方法

支部ホームページより所定の連絡票（エクセルファイル）を入手し、必要事項を入力して、電子メールで送付してください。また、委任状・決議書は、スキャンしてPDFファイルとして添付してください。委任状・決議書を送付する場合は、連絡票を省略してもかまいません。なお、委任状・決議書をPDFファイルとして送付できない場合は郵送してください（手書き可）。

ホームページ：https://japan.landslide-soc.org/kanto/kanto_announce.html

送付先アドレス:kt@fcri.co.jp

メールのタイトル：総会連絡（添付ファイルには識別のために自分の名前を入れてください）

郵送先：377-0053 群馬県渋川市北橘町箱田9 7 2－2 日本地すべり学会関東支部

送付期限：令和2年4月27日（月）

令和2年度支部総会における新型コロナウイルス感染対策について

令和2年4月10日

公益社団法人日本地すべり学会

関東支部

支部総会に参加を希望する方は、新型コロナウイルスによる感染リスクを小さくするために、都道府県の要請等を尊重し、自己の判断で適切な行動をとるように、お願い申し上げます。

なお、事前に連絡票で行いました総会出席の確認は、総会の準備や参加者への連絡のためであり、総会に出席することを縛るものではありませんので、欠席されても問題はありません。出席をしなかった場合に備えて、委任状を提出いただければ幸いです。

総会に参加する方は、次の留意事項を守ってください。

- 1) 運営管理上、事前に総会出席を申し込まれた方以外の参加はお断りいたします。
- 2) 当日に、発熱（37.5 度以上）や風邪の症状等がみられる場合は、参加をお控えください。
- 3) 総会に参加する方は、感染リスク低減のために、原則としてマスクを着用してください。
- 4) 事前に総会参加の選択をされた方には、前日までに、連絡票に記載されたメールアドレスに参加証（QRコードを予定）及び関係文書を送付します。
- 5) 当日は、会場に受付は設けませんので、会場に到着されましたら、すみやかに入室して指示された席にお座りください。
- 6) 参加証を机の上に置いておいてください。参加証を確認することにより、出席者を把握します。
- 7) 参加者の席は一定の距離を取るために間をあけます。入室されましたら、周囲の方との雑談は慎んでください。
- 8) 手洗いやアルコール消毒は、可能な限り行ってください。

今後の状況の変化によっては、総会自体の延期・中止等もあります。また、議長は中立性の確保の観点から原則として役員以外の参加者から選出しますが、当日、役員以外の参加者がいない場合は、議長を参加した役員の中から選出して議事を進行します。

令和2年度関東支部総会連絡票(支部会員用)

本連絡票(エクセルファイル)に必要事項を記載の上、ファイル名に申込者の氏名を加えて変更し、下記のアドレスに添付ファイルとして送信してください。

なお、メールの件名は、「総会連絡」としてください。

達付元ノトレ

kt@fcni.co.jp

送付期限:平成2年4月27日

会員番号	氏名	所属	メールアドレス

私は、次のように対応します。

--

(▼をクリックして選択してください)

* 次の3つから選択

1. 総会に出席します(欠席する場合に備えて、委任状等も提出してください)。
2. 委任状を提出して、議決権を委任します。
3. 決議書を提出して、議決権を行使します。

委任状、決議書をスキャンして送付できない場合は、下記に郵送してください。なお、委任状・決議書は、手書きでも構いません。その場合は、連絡票は不要です。
377-0053 群馬県渋川市北橘町箱田972-2 日本地すべり学会関東支部

「**委任状**
私は関東支部長を代理人と定め、関東支部令和2年度総会に関する一切の権限を委任します。 令和2年〇月〇日 所属・氏名(印)」

公益社団法人日本地すべり学会関東支部
令和2年度総会委任状（支部会員用）

- ・総会をご欠席される方、欠席する可能性のある方は、委任状をご提出ください。
- ・本委任状をスキャニングしたPDFファイルを、電子メールに添付して送付してください。なお、PDFファイルのファイル名は、「委任状」に、氏名を加えたものとしてください。

提出先E-mail : kt@fcrl.co.jp

提出期限：令和2年4月27日（月）

- ・委任状をスキャンして送付できない場合は、下記に郵送してください。なお、委任状は、手書きでも構いません。その場合は、連絡票は不要です。

377-0053 群馬県渋川市北橘町箱田972-2 日本地すべり学会関東支部

委 任 状

私は、総会を欠席した場合、関東支部長を代理人として定め

公益社団法人日本地すべり学会関東支部・令和2年度支部総会

に関する一切の権限を委任します。

なお、関東支部長が出席できない場合は、代理人は副支部長とします。

令和2年5月9日

会員番号：

所属：

氏名： 印

（必ず自筆署名にて、ご捺印をお願いします）

公益社団法人日本地すべり学会関東支部
令和2年度総会決議書（支部会員用）

- ・総会をご欠席される方、欠席する可能性のある方は、決議書をご提出ください。
- ・本決議書をスキャンしたPDFファイルを、電子メールに添付して送付してください。なお、PDFファイルのファイル名は、「決議書」に、氏名を加えたものとしてください。

提出先E-mail : kt@fcrl.co.jp
提出期限：令和2年4月27日（月）

- ・委任状をスキャンして送付できない場合は、下記に郵送してください。なお、決議書は、手書きでも構いません。その場合は、連絡票は不要です。
- 377-0053 群馬県渋川市北橘町箱田972-2 日本地すべり学会関東支部

決 議 書

私は、総会を欠席した場合、示された議案に対して次の通り決議します。

区分	決議の内容
第1号議案 支部役員の選任に関する件	賛成 ・ 反対
第2号議案 事業報告及び決算の承認に関する件	賛成 ・ 反対
第3号議案 関東支部運営内規の一部変更に関する件	賛成 ・ 反対

（賛成・反対のどちらかに○印をつけてください）

令和2年5月9日

会員番号：

所属：

氏名： 印

（必ず自筆署名にて、ご捺印をお願いします）

(書面による議決権行使)

関東支部総会の議案について

令和2年4月16日
日本地すべり学会関東支部

第1号議案 支部役員の選任に関する件

第6期(令和2-3年度)の支部長、副支部長、監事に、関東支部運営内規第4条にもとづいて、次の者を選任します。

支部役員の候補者

役職	氏名	所属	備考
支部長	櫻井 正明	株式会社 山地防災研究所	再任
副支部長	若井 明彦	国立大学法人 群馬大学大学院	再任
監事	道畑 亮一	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	再任
監事	神戸 徹	群馬県 環境森林部 森林保全課	新任

[資料] 支部役員の推薦等

令和2年4月16日に開催された運営委員会により、支部役員(支部長、副支部長、監事)の候補者が推薦されました。

その他の役員(運営委員、幹事等)は、支部長が委嘱することから(関東支部運営内規第4条)、5月末頃に決定される見込みです(関東支部 Web で公開予定)。

第2号議案 事業報告及び決算について

別紙の令和元年度事業報告書及び令和元年度決算書を承認します。

〔資料〕 監査報告等

事業報告及び決算については、令和2年4月6日に、監事2名による監査をうけて、次の報告を受けております。

- ①決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- ②事業報告書の内容は真実であると認める。
- ③支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反するような重大な事実はないと認める。

決算書において、予算額と決算額に200千円程度の差が生じていますが、主たる理由は、予算の段階で若手対策費用支出事業の本部負担（収益側）が判明していなかったために計上していなかったことによるものです。

なお、主要な行事の報告は、学会誌及び支部ホームページに掲載しています。

第3号議案 関東支部運営内規の一部変更について

関東支部運営内規を下記のとおり変更します。

関東支部運営内規の新旧対照表

旧	新	事由
(定足数・議決) 第9条 総会は、支部に所属する正会員の1/5以上の出席がなければ開催することができない。 2. 総会の議事は、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。 3. 総会に出席できない正会員が、書面をもってあらかじめ意思を表示した場合は、総会の定足数及び議決数に算入する。 (以下略)	(定足数・議決) 第9条 総会は、支部に所属する正会員の1/5以上の出席がなければ開催することができない。 2. 総会の議事は、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。 3. 総会に出席できない正会員が、書面<u>または電磁的方法</u>をもってあらかじめ意思を表示した場合は、総会の定足数及び議決数に算入する。 (以下略)	議決権の委任、議決権行使（議案の可否）の伝達方法として、電磁的方法を加えた。ここでいう、「電磁的方法」とは、電子メールの送信やウェブサイト（ホームページ）への書込み等を指す。
付 則 1. 本運営内規は、平成24年10月1日から施行する。 2. 本運営内規の変更（第4条、第17条）は、平成28年5月12日から施行する。 3. 本運営内規の変更（第22条、第25条、第26条）は、平成29年5月12日から施行する。 4. 本運営内規の変更（第20条、第21条、第24	付 則 (中略) <u>6. 本運営内規の変更（第9条）は、令和2年5月9日から施行する。</u>	施行日の記載を追加

条)は、平成30年5月7日から施行する。 5. 本運営内規の変更(第19条、第20条)は、令和元年5月10日から施行する。		
---	--	--

〔資料〕提案説明

運営内規では、総会の議決について詳しく記載されていますが、議決権の委任、行使の伝達方法として、書面による方法のみしか示されていないので、メール・ホームページを用いた電磁的方法を加えるものです。今後、伝達方法として電磁的方法を用いることにより、効率性や利便性が向上すると考えられます。

なお、現行の関東支部運営内規は、支部ホームページに掲載されています。

【別紙 1】 令和元年度事業報告書

公益社団法人日本地すべり学会関東支部

(1) 総会

開催日：2019 年 5 月 10 日(金)11:00～12:00

場 所：東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

参加者：出席者数 42 名 委任状数 89 名 計 131 名（定足数 93 名以上）

(2) シンポジウム

開催日：2019 年 5 月 10 日(金)12:45～16:45

場 所：東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

参加者：117 名

テーマ：シンポジウム「最近発生した地すべり災害の実態と対策」

- ・平成 29 年に長野県飯山市井出川で発生した融雪災害 大丸裕武(森林総合研究所)
- ・平成 29 年九州北部豪雨(大分県日田市小野地区) 竹下航(土木研究所)
- ・福島県喜多方市場津地区における地すべり 山口豊(福島県)
- ・平成 30 年耶馬溪町斜面災害 落合博貴(日本地すべり学会災害調査団)
- ・総合討論(コーディネータ：櫻井正明)
- ・概要集発行

(3) 意見交換会

開催日：2019 年 5 月 10 日(金)17:15～19:15

場 所：東京大学農学部レストランアブルボア（東京都）

参加者：58 名

(4) 現地検討会

① 第 1 回現地検討会－山梨県御勅使川の砂防・治水の歴史－

開催日：2019 年 7 月 9 日(火)

場 所：山梨県南アルプス市

協 力：南アルプス市教育委員会文化財課, 山梨県 県土整備部砂防課

参加者：25 名

② 第 2 回現地検討会－富士川付近の第三紀層地すべり－

開催日：2019 年 11 月 25 日(月)

場 所：山梨県南巨摩郡身延町手打沢地区

協 力：山梨県峡南林務環境事務所

説明者：天野一男（茨城大学名誉教授）

参加者：9 名

(5) 斜面協会との共催事業

テーマ：鬼怒川上流の大規模河道閉塞跡と川俣ダムで施工中の岩盤 PS 工の見学

開催日：2019 年 11 月 15 日(金)

場 所：栃木県日光市 五十里ダム, 川俣ダム

主 催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部, (一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部

協 力：国土交通省 鬼怒川ダム統合管理事務所川俣ダム管理支所, 株式会社大林組

参加者：14 名

(6) 技術講習会

①基礎技術現地見学会講習会（若手対策費支出事業）－火山地形・地質入門－貞観噴火による富士山北麓の溶岩地形－

開催日：2019 年 10 月 17 日(木)

場 所：山梨県南都留郡富士河口湖町・鳴沢村

講 師：千葉達朗（アジア航測㈱）

参加者：19 名

(7) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

・第 1 回 2019 年 4 月 18 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 17 名

・第 2 回 2019 年 12 月 3 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 14 名

② 幹事会

・第 1 回 2019 年 4 月 18 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 17 名

・第 2 回 2019 年 5 月 20 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 16 名

・第 3 回 2019 年 7 月 1 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 17 名

・第 4 回 2019 年 8 月 26 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 15 名

・第 5 回 2019 年 11 月 14 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 14 名

・第 6 回 2019 年 12 月 3 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 14 名

・第 7 回 2020 年 3 月 19 日 港区生涯学習センター（東京都）出席者 8 名

(8) 広報活動等

・関東支部 Web ページ更新

(9) 2020 年度研究発表会の準備

・実行委員会の立ち上げ

(10) 災害調査

対象：令和元年東日本台風（台風第 19 号）により発生した斜面災害

関東支部で調査団を組織して対応

- ・災害発生 2019 年 10 月 12 日
- ・情報収集（現地確認を含む）2019 年 10 月 13 日～10 月 27 日
- ・第 1 回災害調査 2019 年 11 月 4 日 群馬県富岡市・甘楽町 6 名
- ・第 2 回災害調査 2019 年 11 月 16 日 群馬県嬬恋村 3 名
- ・第 3 回災害調査 2019 年 11 月 24 日 雨天のため中止
- ・第 4 回災害調査 2019 年 12 月 10 日 神奈川県伊勢原市 5 名

調査協力：群馬県, 神奈川県, 富岡市, 日本サーベイ(株), 西吾妻生コンクリート(株)

				予算	決算	決算-予算	備考
【収益】							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益	事業収益			550,000	734,118	184,118	
		シンポジウム収益		470,000	523,000	53,000	
			参加費	220,000	238,000	18,000	¥2,000-×119名
			意見交換会費	250,000	285,000	35,000	¥5,000-×57名
		現地検討会収益		80,000	74,000	▲ 6,000	
			参加費	80,000	74,000	▲ 6,000	第1回:参加者17名(内0名学生) 第2回:参加者2名(内2名学生)
			意見交換会費			0	
		技術講習会収益					
			参加費				
			意見交換会費				
	協賛・寄付						
		協賛金					
		寄付金					
	雑収益						
	受取利息			0	12	12	
	預り金						
	資金移動	若手対策費支出事業(本部負担)		0	137,106	137,106	
本部仮払金(下記に内訳を記載)							
当期収益合計(A1=支部収益+本部仮払金)				550,000	734,118	184,118	
内)収益合計中の未収入金(A2)							
【費用】							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用	事業費			950,000	929,197	▲ 20,803	
				850,000	859,169	9,169	
		シンポジウム会費		470,000	471,330	1,330	
			印刷製本費	100,000	84,564	▲ 15,436	刷文印刷工業(180部)
			会場費(会場使用料)	86,000	77,000	▲ 9,000	
			会議費(意見交換会含む)	250,000	279,000	29,000	
			諸謝金	0	6,100	6,100	
			旅費交通費	33,000	20,620	▲ 12,380	
			支払手数料	1,000	4,046	3,046	口座振替手数料
			消耗品			0	
			雑費			0	
		現地検討会費		180,000	250,733	90,733	共催事業等を含む
			印刷製本費	20,000		▲ 20,000	
			会場費(会場使用料)			0	
			会議費(意見交換会含む)		34,190	34,190	
			諸謝金		20,000	20,000	
			旅費交通費			0	
			借料(バス・レンタカー代)	120,000	179,951	59,951	レンタカー
			通信運搬費	8,000		▲ 8,000	
			支払手数料	2,000	2,492	492	口座振替手数料
			消耗品			0	
			支払保険料	10,000	14,100	4,100	傷害保険料
			外注費			0	
			雑費			0	
		技術講習会費		150,000	137,106	▲ 12,894	若手対策費支出事業
			印刷製本費	30,000		▲ 30,000	
			会場費(会場使用料)	20,000		▲ 20,000	
			会議費(意見交換会含む)			0	
			諸謝金	30,000	16,700	▲ 13,300	
			旅費交通費		8,040	8,040	
			借料(バス・レンタカー代)	60,000	95,700	35,700	
			通信運搬費		3,936	3,936	
			支払手数料	10,000	3,006	▲ 6,994	
			消耗品		924	924	
			支払保険料		8,800	8,800	
			雑費			0	
		※その他の事業活動		70,000	0	▲ 70,000	
			印刷製本費			0	
			会場費(会場使用料)			0	
			会議費(意見交換会含む)			0	
			諸謝金			0	
			旅費交通費			0	
			借料(バス・レンタカー代)	35,000		▲ 35,000	
			通信運搬費			0	
			借車システム費(印刷部など)	20,000		▲ 20,000	
			支払手数料			0	
			消耗品			0	
			備品			0	
			支払保険料	15,000		▲ 15,000	
			雑費			0	
			その他			0	
	管理費			100,000	70,028	▲ 29,972	
		給与・手当				0	
			パート給与			0	
			7/8パート給与			0	
		会場費		30,000	9,400	▲ 20,600	会議室使用料
		会議費				0	
			支部総会費			0	
			幹事会・運営委員会費			0	
		印刷製本費		17,000		▲ 17,000	
		旅費交通費				0	
		通信運搬費		33,000	42,912	9,912	電波利用料、切手代
		消耗品	事務用品費	15,000	16,914	1,914	封筒印刷代
		事務費	OA費、IT維持管理費			0	
		備品				0	
		外注費				0	
		支払手数料		2,000	292	▲ 1,708	口座振替手数料
		公租公課	印紙代			0	
		雑費		3,000	510	▲ 2,490	残高証明手数料
当期費用合計(B1)				950,000	929,197	▲ 20,803	
内)未払い金(B2)				0	0	0	
当期収支差額(C=A1-B1)				▲ 400,000	▲ 195,079	204,921	
前期繰越額(D)				1,192,269	1,192,269	0	
内)前期未払い金(E)							
次期繰越収支差額(D+C+B2-E)				792,269	997,190	204,921	